



2026年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月14日

上場会社名 BRUNO株式会社

上場取引所 東

コード番号 3140 URL <https://bruno-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO管理本部長 (氏名) 佐々木 衛

TEL 03-6631-0000

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	10,321	8.8	506	26.7	393	41.9	564	276.6
2025年6月期第3四半期	11,314	14.0	399	59.9	277	164.8	149	

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 599百万円 (334.3%) 2025年6月期第3四半期 138百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	39.37	
2025年6月期第3四半期	10.45	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	10,453		5,750		55.0	
2025年6月期	10,507		5,208		49.5	

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 5,750百万円 2025年6月期 5,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年6月期		0.00		4.00	4.00
2026年6月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	89.6	600	136.1	400	121.5	380	197.2	26.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ジャパングールズSC
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	14,717,350 株	2025年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2026年6月期3Q	374,735 株	2025年6月期	374,735 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	14,342,615 株	2025年6月期3Q	14,342,615 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2026年5月14日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、住関連ライフスタイル市場を主たる事業ドメインと位置付け、キッチン家電、理美容品、トラベル関連領域において、企画力およびデザイン力を強みとした商品開発に継続的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間（2025年7月1日～2026年3月31日）における当社グループの売上高は前年同期比で8.8%減となったものの、当期継続的に注力しております収益構造の改善は順調に進展いたしました。

売上面におきましては、ライフスタイル商品ブランド『BRUNO』において、主力のホットプレートが市場浸透により拡大局面から定着局面へ移行したものの、ブランド力と収益性を重視する販売戦略に注力し、エアフライヤー等の新規キッチン家電やカタログギフトの高価格帯商品及び法人向け販売が継続して好調に推移するとともに、海外販売も伸長しました。トラベルブランド『MILESTO』におきましては、グッドデザイン賞を受賞した「Hütte」「LIKID」など、デザイン性と機能性を兼ね備えた製品群がブランド価値の向上に寄与しましたが、インバウンドを含む旅行需要の取り込みに苦戦しました。

利益面におきましては、仕入および在庫のコントロール、原価率改善施策を継続的に実施したことにより、粗利率は前年同期を上回りました。加えて、物流関連費用をはじめとする販売費及び一般管理費の最適化に継続的に取り組み、収益性の改善が順調に進みました。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間における売上高は10,321百万円（前年同期は11,314百万円）、営業利益は506百万円（前年同期399百万円）、経常利益は393百万円（前年同期277百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、受取和解金（特別利益）の計上等により564百万円（前年同期149百万円）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①住関連ライフスタイル商品製造卸売事業

売上高4,868百万円（前年同期は5,420百万円）、営業利益556百万円（前年同期は401百万円）となりました。

国内卸販売においては、マルチブレンダーやガラスエアフライヤー等、ホットプレートに続く新規のキッチン家電の拡販、ポートフォリオの強化に注力しました。海外販売においては引き続き越境EC等の売上が好調に推移しました。これらに加え、前述の通り仕入・在庫のコントロール、原価低減施策、物流費用の削減等に継続的に取り組んだ結果、営業利益は大幅に改善いたしました。

②住関連ライフスタイル商品小売事業

売上高5,368百万円（前年同期は5,863百万円）、営業利益975百万円（前年同期は934百万円）となりました。

EC販売においてはカタログギフトや新商品の販売が好調に推移しました。特にカタログギフトは前年同期比124%となり、過去最高販売額を更新しました。なお、前期において収益性の低い店舗を閉鎖したことで前期に比べて店舗数が減少しております。

③デザイン事業

売上高83百万円（前年同期は29百万円）、営業利益83百万円（前年同期は29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,453百万円（前連結会計年度末は10,507百万円）となり、53百万円減少しました。

流動資産は、8,246百万円（前連結会計年度末は8,625百万円）となり、379百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の増加（1,550百万円）や1年以内回収予定長期貸付金の増加（700百万円）等があったものの、商品及び製品の減少（1,190百万円）や短期貸付金の減少（1,570百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、2,207百万円（前連結会計年度末は1,881百万円）となり、325百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の減少（27百万円）や無形固定資産の減少（67百万円）等があったものの、投資その他の資産の増加（420百万円）があったことによるものであります。

流動負債は、2,502百万円（前連結会計年度末は2,880百万円）となり、377百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加（523百万円）や契約負債の増加（246百万円）等があったものの、短期借入金の減少（1,138百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、2,200百万円（前連結会計年度末は2,418百万円）となり、218百万円減少しました。その主な内訳は、長期借入金の減少（141百万円）及び長期未払金の減少（75百万円）となっております。

純資産は、5,750百万円（前連結会計年度末は5,208百万円）となり542百万円増加しました。その主な内訳は、為替換算調整勘定の増加（34百万円）及び利益剰余金の増加（507百万円）となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年2月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898	3,448
受取手形及び売掛金	1,391	1,491
商品及び製品	2,739	1,549
原材料及び貯蔵品	271	262
短期貸付金	1,970	400
1年内回収予定の長期貸付金	—	700
その他	380	418
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	8,625	8,246
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	192	165
有形固定資産合計	192	165
無形固定資産		
のれん	1,304	1,227
その他	50	59
無形固定資産合計	1,355	1,287
投資その他の資産		
繰延税金資産	205	245
長期貸付金	—	370
その他	144	154
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	334	754
固定資産合計	1,881	2,207
資産合計	10,507	10,453
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503	1,026
短期借入金	1,341	203
1年内返済予定の長期借入金	210	193
未払法人税等	37	18
引当金	54	32
契約負債	211	457
その他	520	570
流動負債合計	2,880	2,502
固定負債		
長期借入金	466	325
長期末払金	1,925	1,850
その他	27	24
固定負債合計	2,418	2,200
負債合計	5,299	4,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	1,974	2,481
自己株式	△82	△82
株主資本合計	5,220	5,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△12	21
その他の包括利益累計額合計	△11	23
純資産合計	5,208	5,750
負債純資産合計	10,507	10,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	11,314	10,321
売上原価	6,486	5,734
売上総利益	4,827	4,586
販売費及び一般管理費	4,427	4,079
営業利益	399	506
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	73
為替差益	11	—
雑収入	32	25
営業外収益合計	58	98
営業外費用		
支払利息	17	13
株主関連費用	135	147
為替差損	—	7
その他	27	44
営業外費用合計	181	211
経常利益	277	393
特別利益		
受取和解金	—	201
特別利益合計	—	201
特別損失		
固定資産除却損	0	0
訴訟関連費用	—	35
その他	0	0
特別損失合計	0	36
税金等調整前四半期純利益	277	558
法人税、住民税及び事業税	112	41
法人税等調整額	14	△48
法人税等合計	127	△6
四半期純利益	149	564
親会社株主に帰属する四半期純利益	149	564

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	149	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△11	34
その他の包括利益合計	△11	34
四半期包括利益	138	599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138	599

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内販売	4,324	—	—	4,324	—	4,324
海外販売	1,096	—	—	1,096	—	1,096
店舗	—	1,933	—	1,933	—	1,933
E C・通販	—	3,930	—	3,930	—	3,930
その他	—	—	29	29	—	29
顧客との契約から生じる 収益	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
外部顧客への売上高	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
セグメント利益	401	934	29	1,364	△964	399

(注) 1 セグメント利益の調整額△964百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内販売	3,812	—	—	3,812	—	3,812
海外販売	1,056	—	—	1,056	—	1,056
店舗	—	1,755	—	1,755	—	1,755
E C・通販	—	3,613	—	3,613	—	3,613
その他	—	—	83	83	—	83
顧客との契約から生じる 収益	4,868	5,368	83	10,321	—	10,321
外部顧客への売上高	4,868	5,368	83	10,321	—	10,321
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,868	5,368	83	10,321	—	10,321
セグメント利益	556	975	83	1,616	△1,109	506

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,109百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	96百万円	73百万円
のれんの償却額	89百万円	93百万円

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少(減資))

当社は、2026年4月17日開催の取締役会において、「資本金の額の減少(減資)」について、2026年6月26日開催予定の臨時株主総会に付議することを決議いたしました。

1. 資本金の額の減少(減資)の目的

当社は今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保すること、並びに税負担の軽減等による税務コストの最適化を図ることにより、将来的な成長投資に向けた財務体質の健全化を図ることを目的とし、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の減少を行うものであります。

2. 資本金の額の減少(減資)の要領

①減少すべき資本の額

資本金の額1,509百万円のうち、1,409百万円を減少させ、減少後の資本金を100百万円といたします。

②資本金の額の減少(減資)の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額1,409百万円の全額を、その他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 減資の日程(予定)

(1)	取締役会決議日	2026年4月17日(金)
(2)	株主総会基準公告日	2026年4月24日(金)
(3)	株主総会基準日	2026年5月12日(火)
(4)	債権者異議申延最終期日	2026年6月15日(月)(予定)
(5)	臨時株主総会決議日	2026年6月26日(金)(予定)
(6)	減資の効力発生日	2026年6月30日(火)(予定)

4. その他の重要な事項

本件は、貸借対照表「純資産の部」における勘定科目内の振替処理であり、当社の純資産額に変更を生じるものではなく、本件が業績に与える影響はございません。

なお、上記の内容につきましては、2026年6月26日開催予定の当社臨時株主総会において、「資本金の額の減少の件」が承認可決されることを条件としております。